

令和8年度 全国学力学習状況調査 中学校版 【美作市 結果・概要】
美作市教育委員会 学校教育課

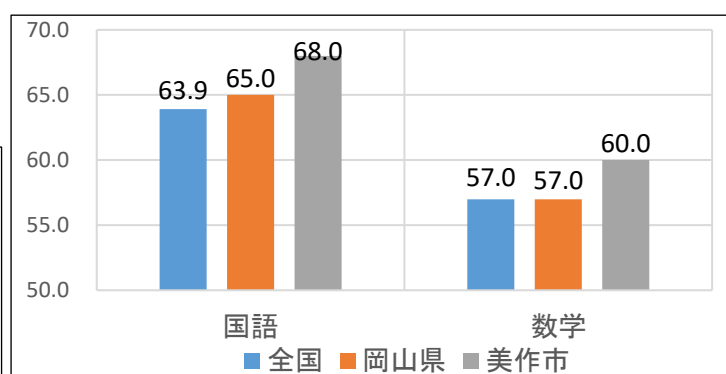
○平均正答率(中3) 割合(%)

	国語	数学
全国	63.9	57.0
岡山県	65.0	57.0
美作市	68.0	60.0

【国語】

・全ての領域において、全国平均を上回り、特に【思考力・判断力・表現力等】の記述問題においては、各領域で6.1p～8.8pと大きく差をつけた。

【数学】・全ての領域において、全国平均を上回り、特に「数と式」【思考力・判断力・表現力等】の記述問題においては、9.8pと大きく差をつけた。



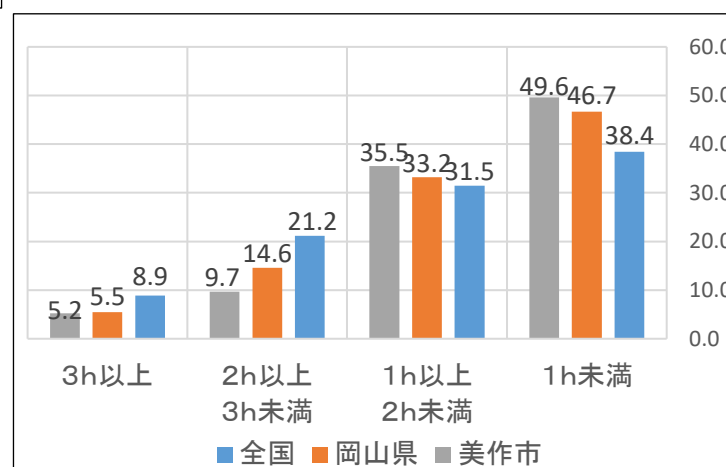
○平日の家庭学習時間(中3) 割合(%)

	1h未満	1h以上 2h未満	2h以上 3h未満	3h以上
全国	38.4	31.5	21.2	8.9
岡山県	46.7	33.2	14.6	5.5
美作市	49.6	35.5	9.7	5.2

・1時間未満の割合が全国平均を大きく上回っている。

・家庭学習時間と正答率との相関が顕著に見られたことから、家庭学習の内容が充実しているといえる。

・引き続き、家庭学習と授業の連動をすすめるとともに、家庭学習における学習の個別最適化による基礎・基本の定着を図る。

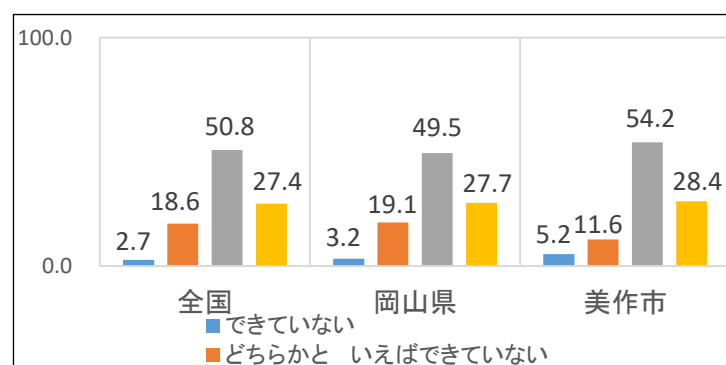


○学び方を自分で考え工夫する(中3) 割合(%)

	できていない	どちらかといえ ばできていない	どちらかといえ ばできている	できている	肯定的回 答
全国	2.7	18.6	50.8	27.4	78.2
岡山県	3.2	19.1	49.5	27.7	77.2
美作市	5.2	11.6	54.2	28.4	82.6

・肯定的な回答は全国平均を大きく上回っている。

・引き続き、生徒が「学び方」を身に付けられるような授業改善により、自律的な学びの促進を図る。



(全国学力・学習状況調査において明らかになった成果と課題及び改善のポイント)

【国語】

◎「表現の工夫とその効果について、読み手からの助言を踏まえ良い点や改善点を見出す」記述式の問題において、全国平均を大きく上回った。(＋8.8p)

◎全ての領域において、【考えの形成、共有】の記述問題が全国平均を大きく上回った。(＋6.1p～＋8.8p)

→単元全体を通した言語活動の充実を図ってきた授業改善の成果。

【数学】

◎「データの活用」領域において、全国平均を大きく上回った。(＋6.5p) →経年的な課題への対策の成果。

◎「数と式」領域の統合的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明する問題で、全国平均を大きく上回った。(＋9.8p)

→思考の過程において、「言葉と数に関連付ける」「多様な考えに関連付ける」「条件を変えて考える」「他の場合でも成り立つか考える」など、数学的な「見方・考え方」を明確にして言語化する活動を取り入れた授業改善の成果。

【学ぶ力】

→授業や家庭学習において、生徒が自ら「学び方」を選択・決定したり、自己調整したりする場面を設定する。また、「教科の見方・考え方」を重視した授業改善を図るとともに、その「見方・考え方」を活用できる「探究的な学習」を積極的に取り入れる。

【その他】

◎「将来の夢や目標をもっている」「自分にはよいところがある」「学校に行くのは楽しい」の質問項目で、肯定的な回答が全国平均を上回っている。

→引き続き、教育活動全般において「自己選択」「自己決定」できる場面を設定し過程を認める言葉かけや価値づけの工夫を行うとともに、学校運営協議会を活性化して地域との連携をすすめ、総合的な学習の時間等におけるキャリア教育の充実を図る。